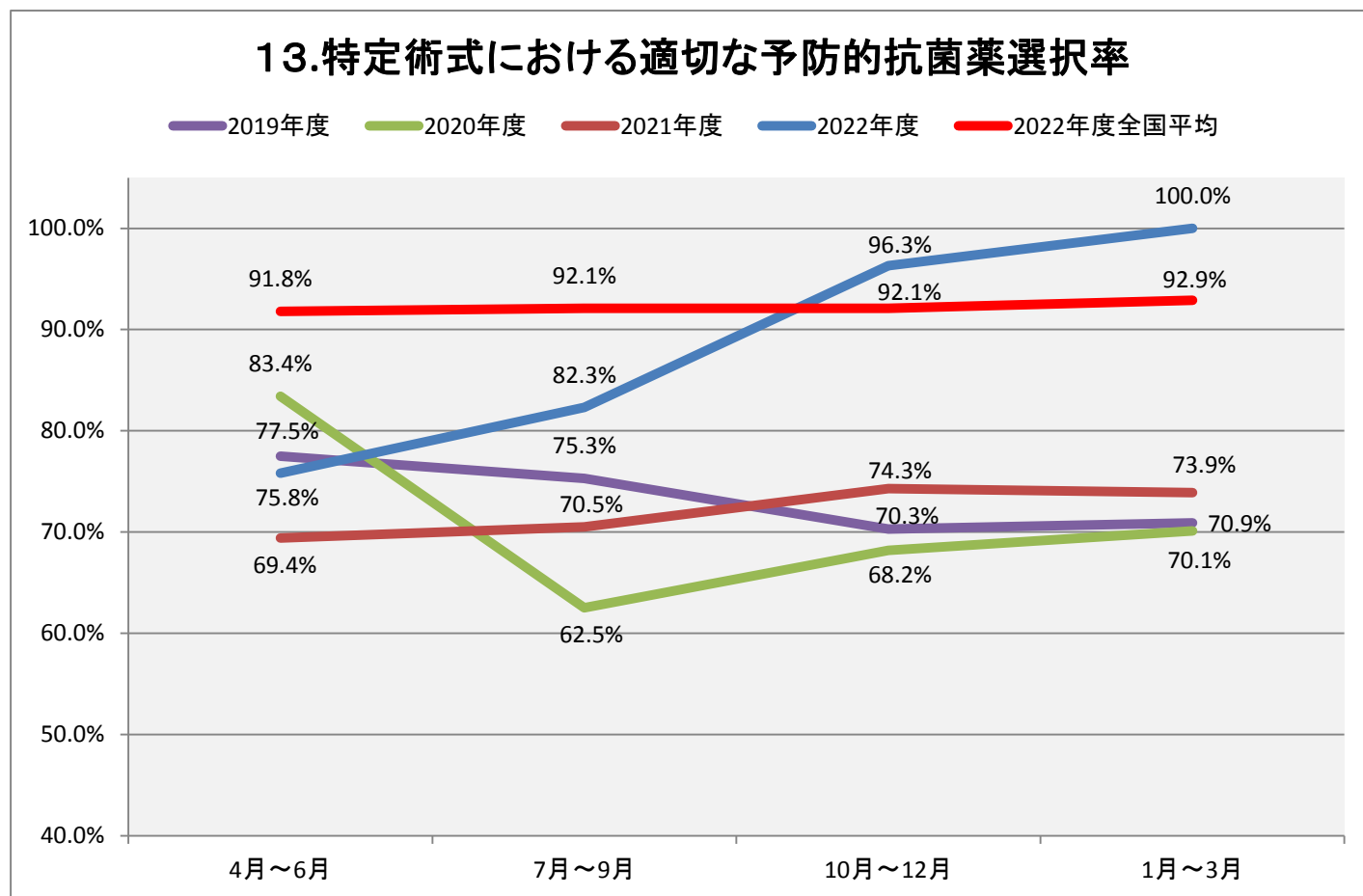


13.特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

(1)調査結果



| 調査期間 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|------------|-------|-------|---------|--------|
| 2022年度 | 75.8% | 82.3% | 96.3% | 100.0% |
| 2021年度 | 69.4% | 70.5% | 74.3% | 73.9% |
| 2020年度 | 83.4% | 62.5% | 68.2% | 70.1% |
| 2019年度 | 77.5% | 75.3% | 70.3% | 70.9% |
| 2022年度全国平均 | 91.8% | 92.1% | 92.1% | 92.9% |

(2) 指標の説明 手術後に、手術部位感染が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が増大します。その予防策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、体内の抗菌薬濃度を適切に保つことで、感染を予防できる可能性が高くなります。

(3) 定義 分子: 術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数
分母: 特定術式の手術件数

※特定術式・・・股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、血管手術